

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立 宇野小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
所在地 〒 703-8235
岡山県岡山市中区原尾島一丁目9-1
E-mail unos@city-okayama.ed.jp
Website http://www.city-okayama.ed.jp/~unos/
幼児児童生徒数 男子 435 名 女子 453 名 合計 888 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

宇野小学校では、「学び合い 助け合い 夢に向かって挑戦する子どもを育てる」という学校教育目標のもと、ESDを人権に関する知的理解を進め、人権感覚を育成する活動として位置づけ、ESDの実践を通して主体的・協同的に取り組もうとする態度や学び方を身に付け、学習や自分の生き方に生かしていくことのできる能力や人間性を養うことを目標とした。

具体的には地域・福祉・国際理解等を柱に、①幼稚園・保育園との交流会、②昔遊び・工場見学(地域との交流)、③目の不自由な方と盲導犬との交流学习・盲学校の学習、④長島愛生園の見学と発表会、⑤国際理解教育と発表会を行った。

① 幼稚園・保育園との交流会

1年生では、自分たちが作ったお店(さかなつりや、まちがいさがしなど)に、地域の幼稚園や保育園の子どもたちを招待し、一緒に遊ぶ活動を行った。自分たちより小さい年齢の幼稚園や保育園の子どもと交流することで、優しい

心や相手のことを思いやることのできる人権感覚を育てることを目指した。異学年や年下の子どもなどと触れ合うことで、児童は相手の気持ちを考えながら活動することの大切さに気づくことができた。

②昔遊び・工場見学（地域との交流）

2年生では、昔遊びを地域の方々（名人）や保護者（ボランティア先生）に教わったり、一緒に楽しんだりする活動を行った。児童は体験する機会の少ない昔遊びの楽しさや、地域の方々との交流する楽しさを感じることができていた。

3年生では、学区内にある工場を調べ、興味をもった工場の見学を行った。工場の方の、もの作りに対する思いや絶え間ない努力を学び、尊敬する気持ちや感謝の気持ちをもつことができた。

今後の課題は、地域の方々との関わりを続けて、地域社会に参画させていくことである。普段から挨拶をしたり、地域の行事に参加したりするなど、今回の体験をきっかけにして地域の方々との交流を深めていくことができるよう指導してゆく必要を感じた。

③目の不自由な方と盲導犬との交流学习・盲学校の学習

4年生では、目の不自由な方の自宅での過ごし方や生活の中で困ること、盲導犬の訓練や盲導犬の仕事についての話を聞いたり、実際に盲導犬の様子を見たりして理解を深めることができた。また、手助けのしかたや気持ちについて教わることで、自分たちができることは何か考えることができた。

国語の「だれもがかかわり合えるように」の学習から点字などについて調べたり、学区の原尾島が点字ブロックの発祥の地であることを知ったりする活動を行った。その上で学区にある盲学校へ見学に行った。学習の時の用具の工夫や安全に過ごすための校舎の工夫などについて見学したり、説明を聞いたり、体験したりして学ぶことができた。

④長島愛生園の見学と発表会

5年生では、長島愛生園内で実際に使用されていた施設や道具、患者や回復者が懸命に生きてきた資料などを見学しながら、日本のハンセン病にまつわる歴史について学んだ。また、回復者の講話を聞き、差別や偏見の残酷さや、それに立ち向かって前向きに生きる生き方にふれた。そして、ハンセン病について正しく理解し、差別や偏見のない社会をつくるために自分たちに何ができるのかを考えた。

また、長島愛生園の見学や調べ学習を通して学んだことを保護者や地域の方々に伝えた。一人一人が自分なりの考えを発表し、これからの自分たちの生活に活かしたいという気持ちを強くしていた。

ハンセン病の学習を通して、これからの自分たちにできることは何かを考えることはできたが、その考えたことをより具体的な行動として実践するための場の設定が不十分であったように思う。今後は、差別や偏見をなくすために自分たちが考えたことを実践する場を設け、学習したことを活かすことができるようにしていきたい。

⑤国際理解教育と発表会

6年生では、岡山市市民局国際課の出前講座として、金さんと馬さん、難波さんに来ていただき、岡山市の友好都市や中国や韓国の生活や文化等についての話を聞いた。そして、各児童が興味をもった国について、インターネットや図書資料を活用して調べ、国の文化や生活の様子、日本とのつながり、その国の抱えている問題等について知った。学習の終末には、自分たちの調べた内容について保護者や他の児童に対して発表した。

児童は、興味を持った国について調べたり、お互いの発表を聞き合ったりすることで、世界にはさまざまな国があり、それぞれに自分の国と同じように尊重すべき文化があることを実感することができていた。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

<ul style="list-style-type: none">・国語4年（光村図書）・点字ブロックDVD「幸せの黄色い道 点字ブロックに人生をかけた三宅精一さん」（顔晴れOKAYAMA）・ハンセン病普及啓発DVD「今、わたしたちができること ハンセン病を正しく理解するために」（岡山県・岡山県教育委員会）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

人権に関する知的理解を進め、人権感覚を育成するとともに、それを尊重する環境づくりに取り組むことで、持続可能な地域や社会をつくる事業に主体的に参加し、実践していこうとする子どもを育成する。このことを長期の目標として、各学年に応じて活動に取り組んでいる。

1・2年生は生活科、3年生から総合的な学習の時間を中心にして、各教科・領域との連携を図りながら行っている。人権尊重を核としたプロジェクトを立ち上げ、地域・福祉・国際理解をテーマとして設定し、地域社会の抱える課題を取り上げ、地域住民とともに持続可能な地域づくりへの意識を高める学習に取り組んでいる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

1年生は幼稚園や保育園の子供たちとの交流、2年生は地域の方たちとの交流、3年生は地域にある工場の様子や働いている方たちとの交流、4年生は視覚障害をはじめ、様々な障害をもつ方との交流、5年生は国立療養所長島愛生園の見学、6年生は外国の方の話を聞いたり興味のある国について調べたりする活動を行っている。学年に応じた活動を継続して行うことで、地域の方や施設の方もとても協力的に支援をしてくださっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

1年生は参加した幼稚園や保育園の子供たちに、2年生は来てくださった地域の方に感想などの話を聞くことを行っている。3年生以上は見たこと・聞いたこと・考えたことなどをまとめ、保護者の方を中心に発表会を行っている。保護者の方からは、地域の再発見や、子供たちの学習の深さからハンセン病や障害のある方、外国の方などに対して改めて考える良い機会になったという声をいただいている。

今後は保護者だけではなく、もう少し広く活動したことを発信できるようにしていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

岡山こども ESD フォーラムには毎年活動報告としてパネル展示を行っている。昨年度は活動報告として児童も参加し、校内の取り組みを発表した。多くの方に話を聞いていただき、取り組みを知っていただくことにつながった。

今年度は 4 月に創刊されるマナップ岡山版という「学び」や「教育」をテーマに情報を発信するフリーペーパーにユネスコスクール活動報告として掲載する予定である。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

学区内にある工場見学には 6 カ所の工場に分かれて見学に行っている。地域の産業について知ったり、そこで働く方の思いや苦勞を聞いたりすることで、自分たちの住んでいる地域を改めて見直すことにつながっている。その他には、盲学校の見学、盲導犬協会の方に来ていただいて話を聞く、国立療養所長島愛生園の見学などに行かせていただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワークについては、昨年度は岡山こども ESD フォーラムに児童が参加することで、他の学校の取り組みを聞いたり本校の取り組みについて話したりして交流ができたが、今年度は紙面での交流(ESD の取り組み)のみになっている。

- ⑧ ユネスコス쿨の活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

校内では、上記のような活動で自分の大切さと共に他の人の大切さを認めることができるように、人権感覚を身に付けていくことを目指して取り組んでいる。また、校内だけではなく、高学年はESDパスポートを持って地域でのボランティアなどにも参加している。今年度は、後樂園で夏と秋に清掃活動なども行い、参加できる児童や保護者が一緒に活動を行ったりもした。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今まで学年に応じて、いろいろな方たちと交流したり活動したりすることで人権感覚を育むことに取り組んできた。地域の方や保護者の協力もいただきながら、学習を進めることができている。また、保護者の方を中心に発表することで学習のまとめができている。

30年度も引き続いて学習に取り組み、児童主体で調べる内容を考えて調べたり、発表方法を工夫しながらまとめたりしていくようにしていく。